

結婚式改善に乗り出す

大川公民館

部落巡回啓もゝ運動に
各戸に趣意書を配布した後
移る

一、はなむけは原則として
廃止する。

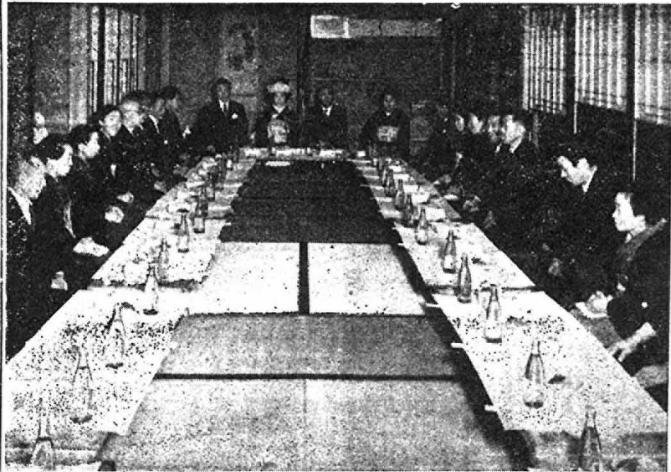
鳩崎貢、工藤惣太郎、渡
辺敬助

間も思つてはいたが、ひ
露宴司会者のリードで祝
詞やら親の謝辞やらで、
時間も酒も充分であつた

昭和三十四年度

調製中

旨中央公民館へ申出で
るよう望んで いる。
十四年度の成人式該當
昭和十四年一月十六日



▽ 結婚式を挙げた方には今後引き合いかが、地元の理解を深めようとする力があるのであつた。

◆ もぎ結婚式開催す

既に住民个体表示した
川中学校において「模擬結婚式」を催したが、百五十名程度の参加で大いなる影響を及ぼす。詳細の説明は省けるが有意義に経った事で一同更に意欲強くした。

◆ 運営審議委員会を開く

委員会を開き、実行のための最終的な進歩方針を決定したが、この目的遂行は力を持せる事にある事を認めたのである。

▽ 実戻要項△

一、投票率は折衝に酒二合とする。
一、祝儀等代酒代は百円とする。
一、投票の時間は二時間とする。

五、選管中公
四、公明選舉
三、公明の沿道宣傳費を抑へ
二、公明の沿道宣傳費を抑へ
一、公明の沿道宣傳費を抑へ

五城目町中央公民館では毎月「公民館便り」と題する広報を発行してゐる。これは、公民館の運営や各種の活動報告、図書室の開設状況などを記載したものです。この広報が、町民の間で広く読まれ、また、その内容が新聞紙面でも取り上げられるなど、町民の間に大きな影響を与えていました。

選管中公て

重動
展開

「公民館便り」
を掲載
五城目町中央公民館では、
他に実行委員一部落六、七
名宛の五一名で構成して、強
力に押し進めていた。

計	大内
用川	用川
197	(22) (17) 二大
一	二六
八	六大
220	(24) (22) 二二
一	二八
八〇	〇
417	(46) (39) 四八
一	五五
三	六六
六	六六

地域名	男	女	合計
五城目	(82)	七五	
馬場目	(41)	三一	
	(40)	三一	(94) 七二
	(81)		(176) 一四七
			六二

の者は名簿に乗らないのである。本町に於いて成人式へ出席する在の本町成人數を示すと、少ない希望者では、住民登録簿の方は、年々二三の表の通りである。

簿調製中
城目町中央公民館